

実用新案公報

昭53-10825

⑫Int.Cl.²

識別記号

⑬日本分類

庁内整理番号

⑭公告

昭和53年(1978) 3月23日

H 04 N 5/64
H 04 B 1/0897(5)G 1
96(1)A 36323-59
6321-53

(全 2 頁)

1

2

⑮テレビ受像機のキャビネット

⑯実 願 昭 48-18949

⑰出 願 昭 48(1973)2月12日

公 開 昭 49-120132

⑱昭 49(1974)10月15日

⑲考 案 者 内田毅

群馬県邑楽郡大泉町大字坂田180

東京三洋電機株式会社内

同 鯉淵達雄

同所

⑳出 願 人 三洋電機株式会社

守口市京阪本通2の18

同 東京三洋電機株式会社

群馬県邑楽郡大泉町大字坂田180 15

プラグ-ソケット式の着脱式にするかいずれかの方法がとられていた。

然しいずれの場合も第1に量産工場において、シャーン完成後通電工程にて動作試験を行うにはどうしても後部函体を取付け、その後該函体のコード孔からコードを通し、シャーンの基板に該コードの一端を接続させるを得なかつた。従つて調整工程に該後部函体をキャビネット本体に結合することは出来ず、極めて作業性が悪かつた。

第2に修理点検時には、後部函体をキャビネット本体より取外し、シャーン全面が現われる状態にする必要があるが、上述の如く後部函体にコードブツシングでコードは固定されているので、コードを後部函体から取外す作業が困難であり、不便を来していた。

そこで本考案は量産工場の通電工程における動作試験も容易に行えるテレビ受像機のキャビネットを提供するものである。

以下図面に従つて本考案を説明すると、第1図は本考案受像機のキャビネットを示す背面図、第2図は同キャビネットの第1図A-Bにおける要部断面図、第3図は同キャビネットの第1図A-Bにおける要部断面図で後部函体をキャビネット本体より取外した状態を示す。第4図は本考案の同キャビネットに使用する締着具の分解斜視図である。図において1はキャビネット本体、2は後部函体、3はシャーン、4は電源プラグ、5は電源コード、6は上記後部函体に設けたコード窓、7はコード押圧板8及び基台9より成る締着具、10は上記押圧板8の取付ネジ、11はコード窓、12はシャーンへの取付ネジ孔を示す。

次に本考案キャビネットの取付方を説明すると、シャーン完成後電源プラグ4が一端に取付けられた電源コード5を電源トランス13に接続してからシャーン3に固定した基台9に対してコード押圧板8によつて該コード5を取付けると、電源プラグ4から電源を供給すれば、所望の動作試験が

㉑実用新案登録請求の範囲

内部にシャーンが固定されたキャビネット本体と合成樹脂製の後部函体とより成るテレビ受像機のキャビネットにおいて、上記シャーンに絶縁材より成る基台を固着し、該基台に電源コードを載置して絶縁材より成るコード押圧板にて上記コードを固定し、上記後部函体に電源プラグの挿入可能なコード挿入孔を設け、上記後部函体とキャビネット本体の結合時、上記基台と一体的に設けた施蓋部により上記コード挿入孔を施蓋してなるテレビ受像機のキャビネット。

考案の詳細な説明

本考案はキャビネット本体と後部函体とに2分されるテレビ受像機のキャビネットに関する。

従来のテレビ受像機のキャビネットにおいて、電源コードの一端は電源プラグが設けられており、他端は、後部函体のコード孔を通して上記キャビネットのキャビネット本体に固定したシャーンに取付けられている。この場合該電源コードは、シャーン取付部から外れることのない様に一方法としてコードブツシングを後部函体に取り付けるか、

行える。斯る動作試験終了後電源プラグ4を後部函体2のコード窓11に通し、該後部函体2をキャビネット本体1に第3図矢印左方向に移動結合させて組立を終り、第2図の状態となるので、該後部函体2のコード窓11に対して上記締着具7の施蓋部14が対向する位置にあり、該コード窓11は施蓋される。

一方修理点検時後部函体2とキャビネット本体1との結合を解けば、上記コード窓11は電源プラグ4の外形線よりも大にしてあるので、後部函体2は完全にキャビネット本体側からは切離すことができシヤーシのチエツクもしくは部品交換も簡単に行うことができる。

以上の如く本考案によれば従来の様に量産工場における障害及び修理点検時の障害も取除くこと

完全に施蓋が可能となり、安全面からも本考案は有用なものである。

図面の簡単な説明

第1図は本考案のテレビ受像機のキャビネットの背面図、第2図は同キャビネットの第1図A-Bにおける要部断面図、第3図は同キャビネット

で、キャビネット本体から後部函体を取外した状態を示す要部断面図、第4図は同キャビネットに用いる締着具の分解斜視図である。

◎引用文献

米国特許 3622700 (クラス 178)

